

和歌山県太地町太地漁港 PR資料

①太地地区：現地調査等による現状・課題整理

【地域の概要】

- 紀伊半島南東部、人口3千人弱の古式捕鯨発祥の地として知られている
- 人口・世帯構成は、65歳以上の年齢割合が約45%(同時期 全国平均29%)を占める高齢化率と高齢単身世帯比率が高い過疎地域である
- 町の基幹産業である水産業を核とし、固有の地域資源であるくじらを活用した観光交流、学術研究等に取り組んでいる
- 国内唯一の鯨類追い込み網漁をはじめとする沿岸捕鯨と定置網漁を中心とした漁業を営んでいるが、近年は漁獲量の減少が著しく魚価単価の低迷が漁協経営収益の低減要因となっている。
- 太地町では平成18年「太地町鯨と自然公園のまちづくり」シーカヤック遊覧とイルカのふれあいプログラムを整備。平成23年に森浦湾くじらの海構想図を発表、平成27年太地町くじらの海計画策定
- 平成29年 森浦湾に道の駅たいじ供用開始、令和2年 森浦湾海上遊歩道・仕切り網供用開始



【漁業の概要】

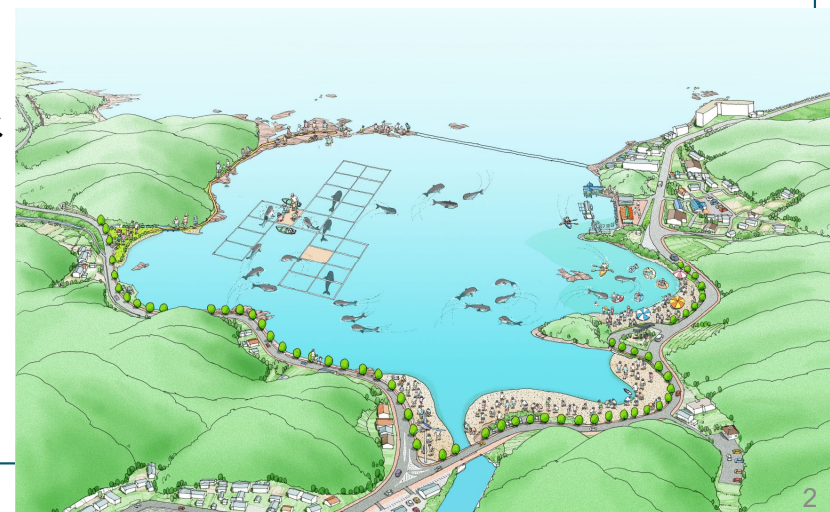
- 太地漁港沖は、熊野灘の黒潮が豊かな漁場を形成している好漁場である
- 主な漁業種類は、小型沿岸捕鯨や鯨類追い込み網漁の他、大型定置網漁、一本釣り、エビ刺し網漁等
- 黒潮蛇行が長期化する中、漁獲量は漸減的な減少が継続
- 漁協は、町、住民と協働して、独自の地域資源であるくじらを最大限活用する6次産業振興に取り組み、太地地域のブランド構築化を図るなど、魚価低迷等による漁協収益を補ってきた
- 令和4年末 太地町漁協組合員数

※漁協ヒアリング

正組合員 100人

准組合員 189人

資料：森浦湾くじらの海構想



【観光の概要】

- 太地町では平成20年から**畠尻湾**にて「**くじらに会える海水浴場**」を開始する。日に数回、**くじらを放流**することで話題となり、毎年、関西・関東からも集客がある。**毎夏のイベント**として定着している
- 平成24年 太地町と漁協、商工が協力して「**本気の朝市**」を開始。現在は活動を休業しているが、定置網漁の鮮魚で**自由参加の模擬セリ**を実施、人気のプログラムであった
- 平成25年 漁協運営である「**森浦湾くじらの海シーカヤック**」の活動拠点施設及び周辺環境を整備した
- 平成29年 **道の駅たいじ**供用開始。定置網漁で水揚げした鮮魚や、町内の鯨肉等加工品、地場産干物などの海産物・農産物の**直売所**と**くじらの食体験**ができる**レストラン**を併設している
- 令和2年 **森浦湾海上遊歩道・仕切り網**供用開始
- 森浦湾海上遊歩道・仕切り網の湾内では、太地町立博物館による**鯨類の飼育を実施中**
- **太地町立くじらの博物館**が立地している
- 町の南東部にある高台、**燈明崎**から**梶取崎**の間2キロの遊歩道は、**吉野・熊野国立公園**の指定域内である。この間は**古式捕鯨**で鯨発見に使用されたポイントや史跡等が保存されている

【令和5年利用者数】

くじらに会える海水浴場 3,597人

※台風の影響により8月6日～8月16日までの11日間閉鎖

森浦湾シーカヤック 1,540人

道の駅たいじ 利用者数 100,181人

太地町立くじらの博物館 130,575人



【観光:現状、これまでの取り組み】

● 森浦湾くじらの海シーカヤック

- ・ 太地町漁協直営であるシーカヤック運営組織「太地フィールドカヤック」では、平成25年シーカヤック活動拠点周辺環境整備を実施したが、集客数が伸び悩む傾向が続いた
- ・ コロナ期には県内教育旅行利用者数が大いに伸びたが、令和3年を境に利用者数は半減している

● モニターツアー実証実験

- ・ 漁協では、平成29～30年渚泊（農泊/農山漁村交付金）を試みる。モニターツアーによる観光コンテンツの発掘、磨き上げに取り組みながら、海業を中心に据えた観光コンテンツの造成を目指す
- ・ 同様に令和2年・3年度、誘客多角化を目指す滞在コンテンツ、観光資源の磨き上げを通じた域内連携促進に向けた実証事業に取り組む。これにより、森浦湾シーカヤックと博物館飼育員との連携によるメニューや、定置網漁や市場セリ見学などの漁業体験、町内古式捕鯨の史跡と漁村集落のまち歩き、太地町立くじらの博物館ガイドツアー等の実証実験に取り組んだ

● 道の駅

- ・ 太地町漁協では、太地町から道の駅たいじの指定管理委託を受託し、鮮魚・魚介類加工品販売、飲食サービスを提供している。

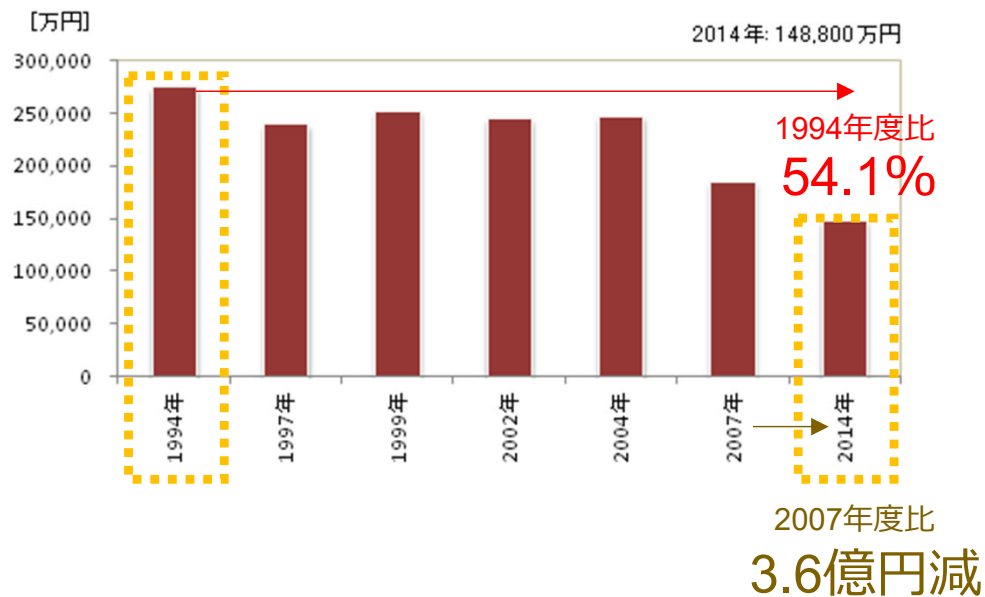
- 道の駅たいじは、町内の観光目的地の首位であり、令和3年度利用者数81,670人、年間売り上げ113,226千円と順調に伸びている



【地域経済】

- 太地町における就業者数1,253人の内、一次産業が7.2%と（全国:3.5%）を上回る
- 太地町における一次産業は水産業が大半を占め、一部漁業者が兼業農家を営んでいる
- 就業人口比の79%（全国:72.8%）が第三次産業に従事している

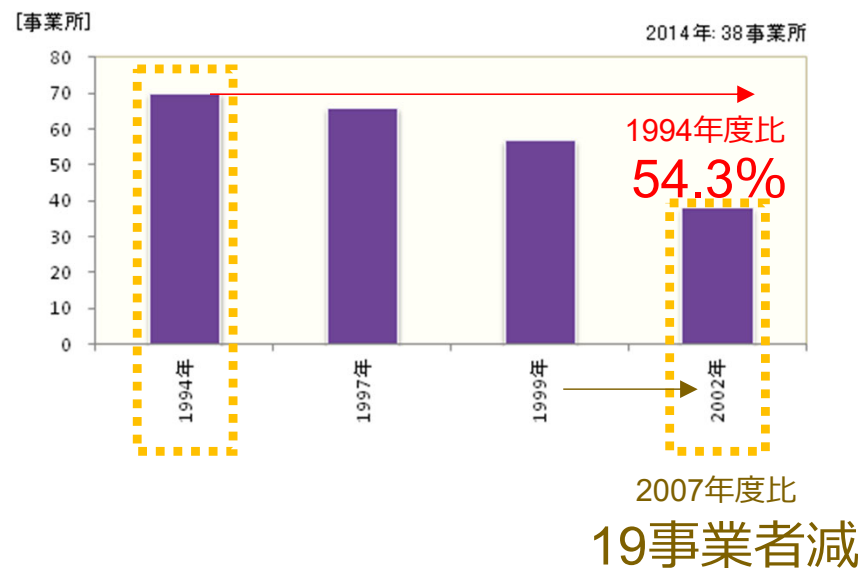
【商業の年間販売額の推移】



資料：平成26年経済センサス活動調査

【商業の事業所数の推移】

商業の事業所数の推移



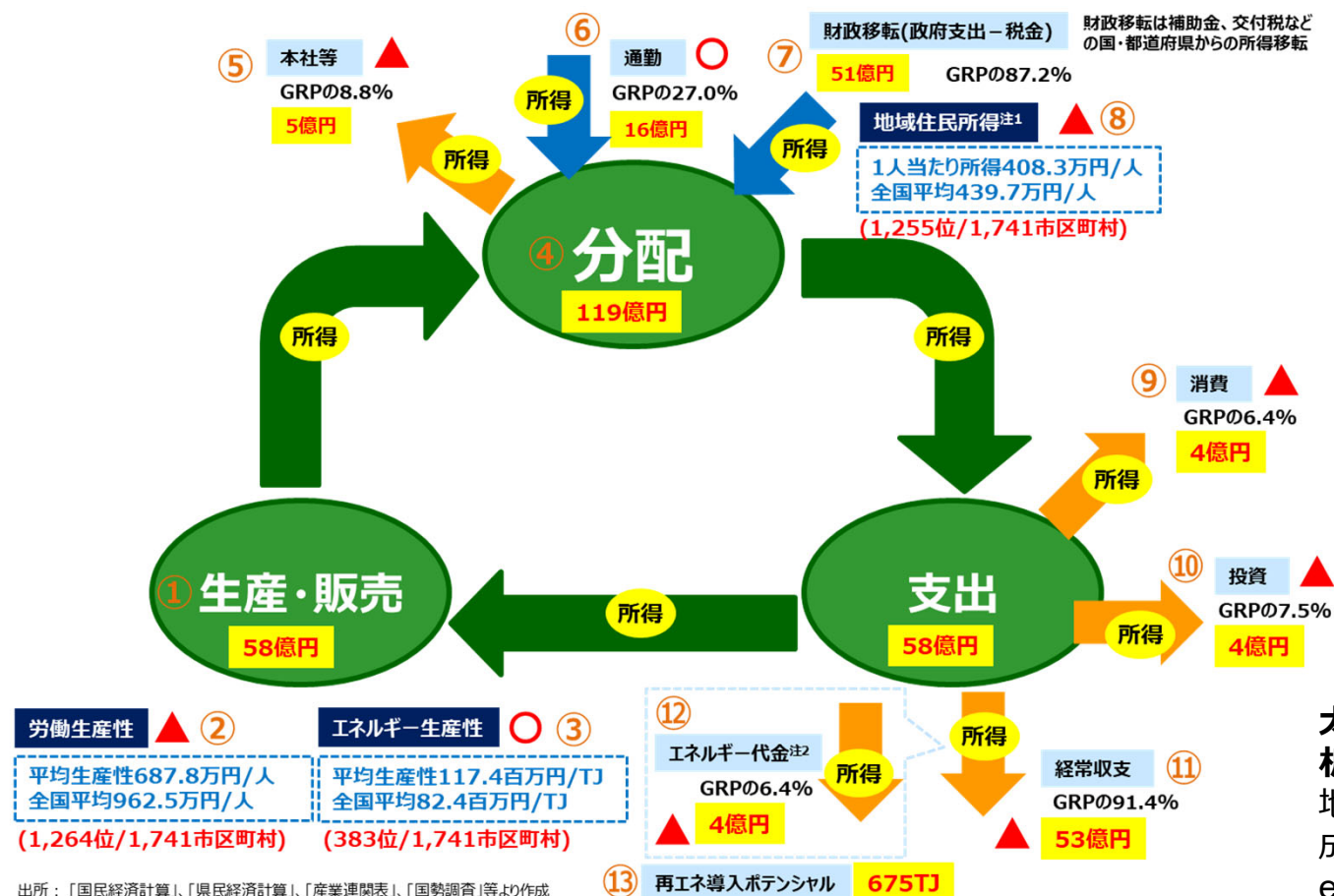
資料：経産省 商業統計

[地域経済]

○太地町の所得循環構造においては、生産・販売は、全体で58億円の収入があり、そのうち労働生産性は全国平均と比較すると低くなっているが、エネルギー生産性は117.4百万円/TJと全国平均より約35百万円/TJ多い。

分配は、全体で119億円の収入があり、そのうち通勤で16億円、財政移転が51億円の収入がある。また、本社等が太地町でない企業への支出が5億円あり、太地町の地域住民所得は1人あたり408.3万円と全国平均より低い結果となっている。

支出は、全体で58億円であり、消費、投資、経常収支、エネルギー代金は太地町以外に多くの支出が発生していることがわかる。



太地町の所得循環構造 地域経済循環分析システム【2018年版】

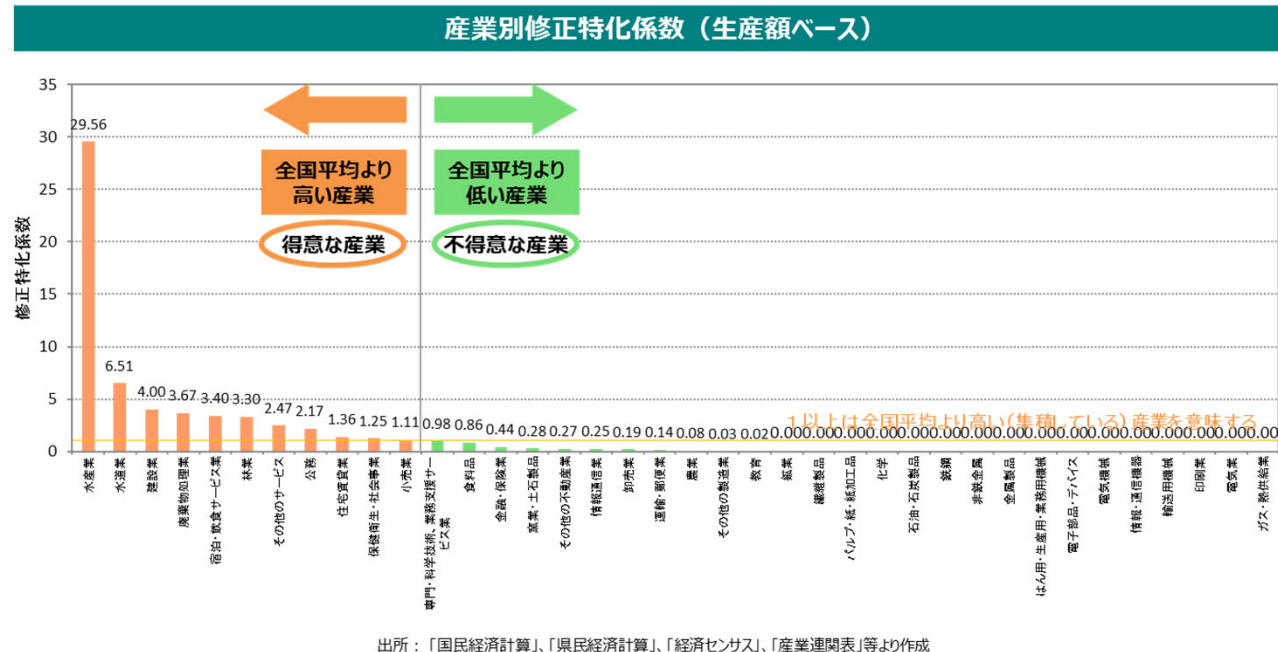
地域経済の“今” 地域経済循環分析自動作成ツールより自動生成, <https://chiikijunkan.env.go.jp/manabu/bunseki/>

出所：「国民経済計算」、「県民経済計算」、「産業連関表」、「国勢調査」等より作成

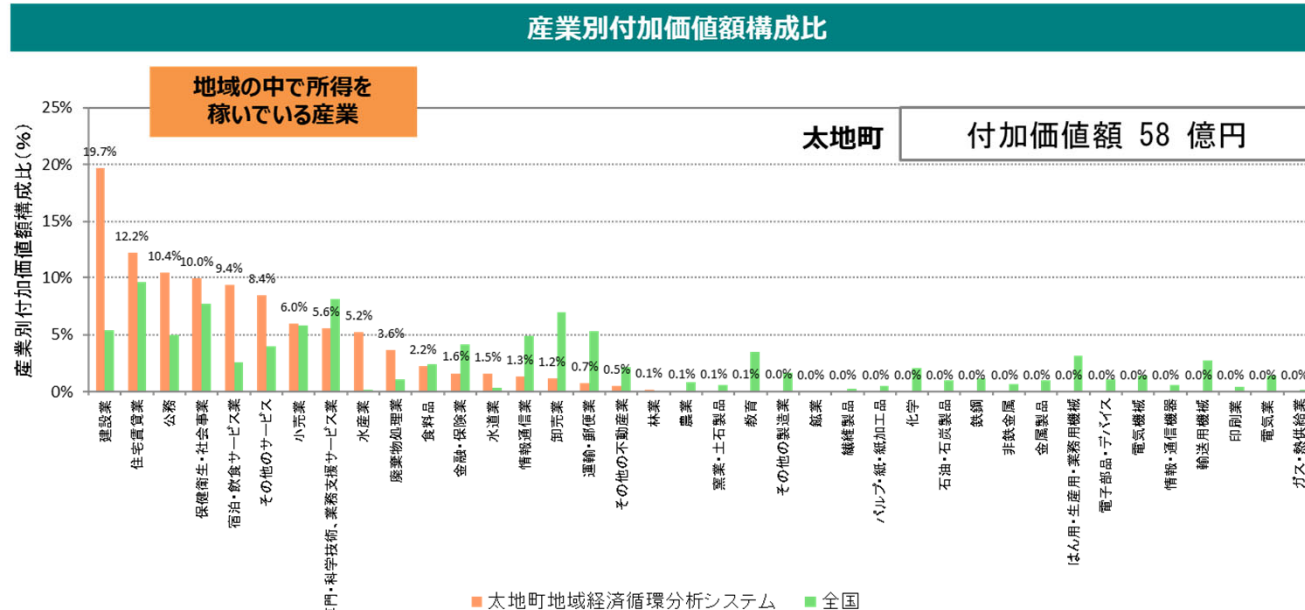
注1) 地域住民所得は、夜間人口1人当たりの所得(＝雇用者所得＋その他所得)を意味する。

注2) エネルギー代金の収支は経常収支の内数であり、原材料利用や本社・営業所等の活動(＝非エネルギー)は含まれない。※Ver5.0までは含まれる

○全国と比較して得意としている産業は水産業、廃棄物処理業、宿泊・飲食サービス業等である。



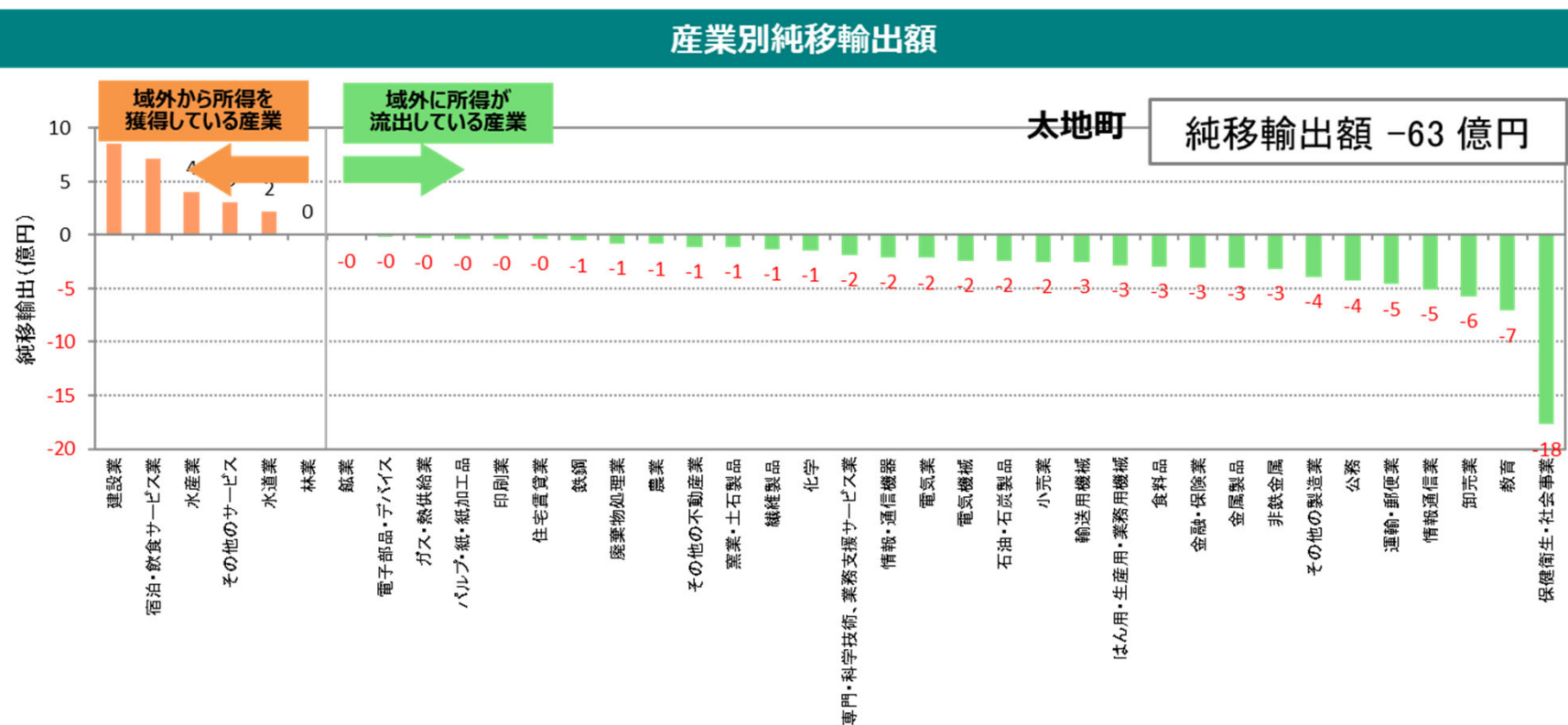
・生産額ベースでの産業別修正特化係数で見ると、太地町は水産業に比較優位性がある。
また、宿泊・飲食サービス業、小売業についても全国平均より高い傾向である。



- ・産業別付加価値額構成比では、宿泊・飲食サービス業9.4%、小売業6.0%、水産業5.2%である。

【地域経済】

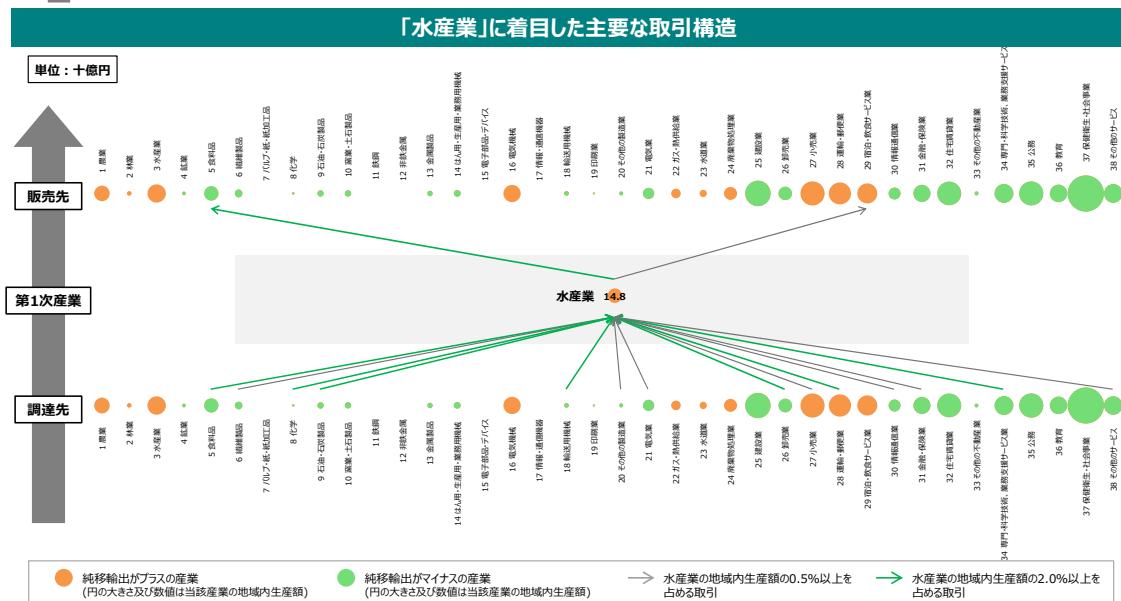
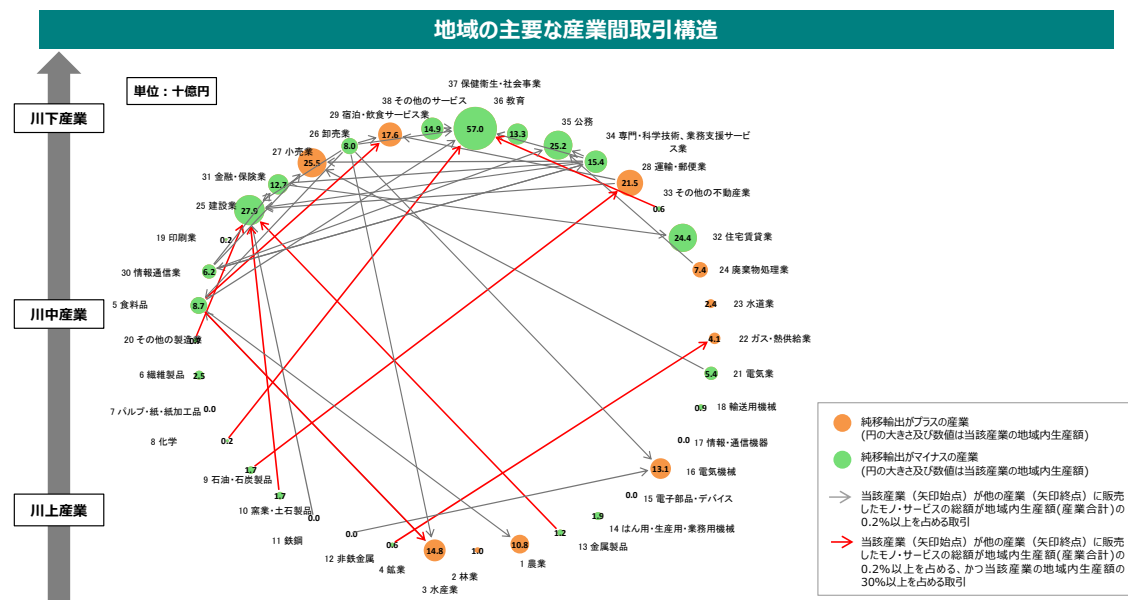
- 域外から所得を獲得している産業は建設業、宿泊・飲食サービス業、水産業、その他のサービス、水道業、等である。これらは、域内での生産額が大きい産業であり、地域で強みのある産業といえる。



出所：「国民経済計算」、「県民経済計算」、「経済センサス」、「産業連関表」等より作成

【地域経済】

- 太地町の水産業は、石油・石炭製品と輸送用機械から調達を行っており、特に食料品産業との取引が地域の経済規模に占める割合が大きい。
- 水産業の純移輸出はプラスとなっており、地域内の需要を域内の生産で賄うことができている。



- ・水産業は生産額148億円、純移輸出がプラスとなっており、地域内の需要を域内の生産で賄うことができている。
- また、太地町の水産業は食料品、石油・石炭製品、輸送用機械、卸売業からの調達に大きく依存しており、食料品への販売が多い。

②太地地区における海業の方向性

太地町における海業振興の経緯 スタートアップから構想・計画・試行・事業化の積み重ね

スタートアップ期

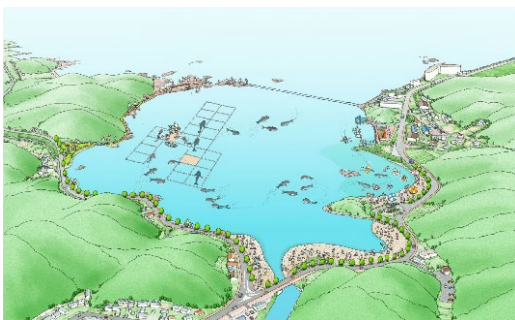
- 地域資源の発掘
- 目標の設定
- 基本構想策定

平成18年 構想策定
「太地町鯨と自然公園のまちづくり」
シーカヤック遊覧とイルカのふれあい
プログラム整備

平成20年～ 畠尻湾
くじらに出会える海水浴場 開始

平成22年～ 森浦湾くじらの海
構想検討委員会開催

平成23年
森浦湾くじらの海構想図
パンフレット作成



森浦湾くじらの海計画

準備期

- 構想の具体化
- 計画実現のためのプログラム
- 基本計画策定

平成24年 **本気の朝市**開始
水産庁事業

平成25年 学校給食用鯨肉加工
施設、シーカヤック活動拠点周辺
環境整備、小型鯨類飼育生簀設
置等施設整備、シーカヤック事業
(漁協自営事業) 総務省事業

平成26年 道の駅たいじ 設計
農山漁村振興交付金
森浦湾小型鯨類生簀設置

平成27年
太地町くじらの海計画策定



森浦湾シーカヤック

実行期

- ハード整備・供用開始
- 運営プログラムの構築
- 人材育成

平成28年
森浦湾奥プレジャーボート移転
湾奥護岸整備 竣工

平成29年
道の駅たいじ 供用開始
森浦湾海上遊歩道 設計
渚泊 農山漁村振興交付金

平成30年
渚泊 農山漁村振興交付金

令和2年
森浦湾海上遊歩道 供用開始



道の駅たいじ

自律的向上

- 取組み機能単位ごとの
ハード・ソフト運用の見直し
- 持続可能な運営体制
の構築
- 異業種連携等による
地域経済活動の活性化

令和2年
**誘客多角化等のための魅
力的な滞在コンテンツ造成**
観光庁

令和3年
**地域の観光資源の磨き上
げを通じた域内連携促進
に向けた実証事業** 観光庁

令和4年
**食文化ストーリー創出・発
信モデル事業** 文化庁



森浦湾海上遊歩道

太地町における課題

海業によってめざしたい方向性

■ 地域社会における課題

- ・人口減少、高齢化の加速化
- ・漁業が低迷すると町内水産加工業も低調

- ・地域産業の活性化
- ・人材育成・雇用の創出
- ・自治体と企業の協働

- ・地域資源(くじら、森浦湾くじらの海、海上遊歩道、熊野灘の豊かな自然、捕鯨の歴史)の活用
- ・「くじらのまち太地」くじらの学術研究の核として維持・継続

■ 漁業における課題

- ・漁獲量、魚価単価の低減による漁家所得の低下
- ・担い手不足、後継者確保が困難

- ・魚価単価の向上
- ・定置漁獲物等の販売・提供方法による付加価値化

- ・海業振興による漁協経営基盤の強化・漁家所得の向上
- ・海業運営に関わる人材育成
- ・町内加工業者と取り組む定置網漁漁獲物の付加価値化

■ 海業における課題

- ・観光展開に地理的条件不利地域である
- ・外部への情報発信不足
- ・漁業体験の活動拠点・専用船整備の経費負担

- ・持続可能な海業の開発
- ・観光期待度を高める観光コンテンツの造成
- ・地域内異業種連携による人材確保・育成

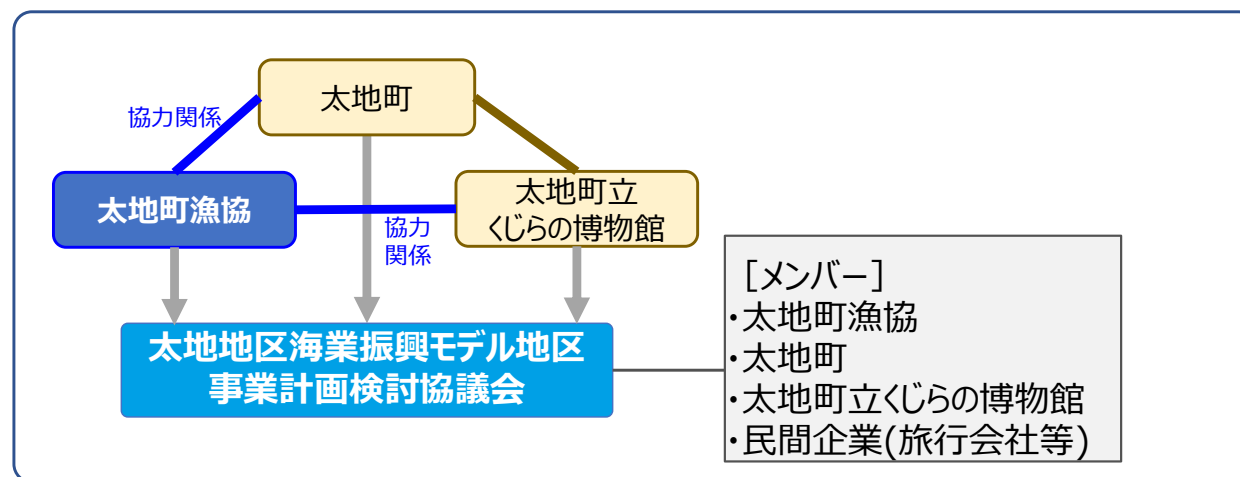
- ・海業振興の強化(周辺宿泊施設と取り組む高付加価値商品の開発、販路拡大)
- ・くじらのまち太地の魅力を活用した継続的な活動と情報発信(漁協HPのリニューアル)
- ・森浦湾くじらの海 海業のアクティビティの魅力向上と充実(釣筏の設置と釣り体験、車いす対応型サップ体験、新たな漁業体験等のメニュー開発)

③太地地区 現地関係者による協議会等の開催

■太地町漁協 海業振興モデル事業 推進協議会 開催について（開催時期と協議概要）

開催時期	開催目的	協議概要
第1回 2023年7月27日 10:00～11:30	現状把握と 共通認識の醸成	・海業の事業化に関するモデル事業の説明 ・現状と課題の整理 ・海業の方向性
第2回 2023年3月6日 14:00～	事業内容の精査	・事業計画の骨子案説明 ・事業計画案に関する合意形成
その他 2023年7月26日	ヒアリング ホテル浦島	・太地町漁協シーカヤックと連携した商品化 ・今後の展望
その他 2023年7月26日	ヒアリング ホテル中の島	・太地町漁協シーカヤックと宿泊のパッケージ商品を販売中 ・売上状況、今後の要望

■検討体制図



海業の事業計画骨子（案）【和歌山県太地町 太地町漁港】①

1. 現状と課題

【地域・水産業の現状と課題】

- 紀伊半島の東側、本州最南端の潮の岬から北東へ20kmの町で、**古式捕鯨発祥の地**である
- 沿岸小型捕鯨と国内唯一の**鯨類追い込み網漁**を実施している。その他大型定置網漁、刺網漁、小型船漁業などを展開
- 町の基幹産業である水産業を核に、**固有の地域資源であるくじら**を活用した学術研究及び交流観光等に取り組み「森浦湾くじらの海計画」を遂行しているものの、地域の過疎高齢化に歯止めがかからない

【海業の現状と課題】

- 太地町立くじら博物館との連携、くじら浜海水浴場、森浦湾くじらの海におけるシーカヤック、道の駅たいじにおけるくじら食や鮮魚・水産加工品の販売等、さまざまな取り組みがある
- 近隣の宿泊施設等と連携した高品質な旅行商品の開発のポテンシャルがある
- 漁協直営のシーカヤックは、コロナ以降利用者が半減しており、効率性の面では教育旅行等の利用を増やすことが求められている
- 地理的条件不利地であり、新たなアクティビティの創出による集客力の拡大が求められている



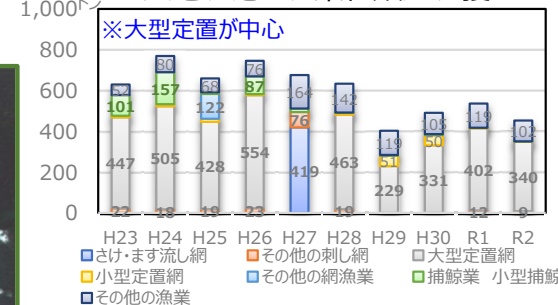
■太地町海業計画



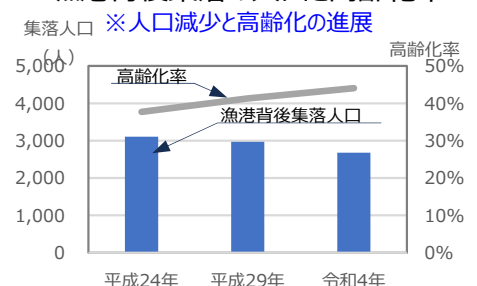
森浦湾シーカヤック体験



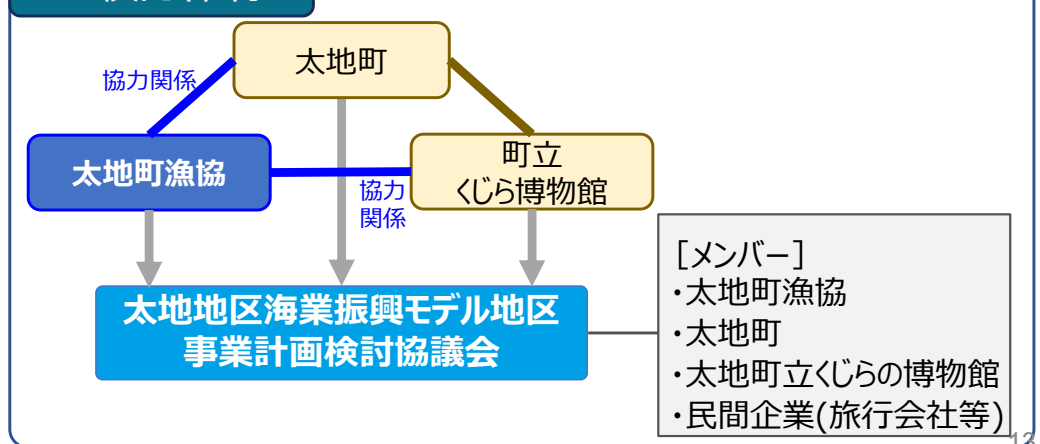
■太地漁港の漁業種類別漁獲量



■漁港背後集落の人口と高齢化率



2. 検討体制



海業の事業計画骨子（案）【和歌山県太地町 太地町漁港】②

3. 海業の方針

くじらの博物館、くじら浜海水浴場、森浦湾くじらの海等の既存の取組を踏まえ、くじらの町太地町の魅力の増大・発信と集客力の拡大を目指す。

【取組】

- 海釣りデッキの整備による森浦湾くじらの海に新たなアクティビティを創出し、エリアの一層の活用と魅力の増大を図る。
- 休漁期の捕鯨船を活用したクルーズ事業や定置網見学といった太地町の漁業に根差した固有のアクティビティの創出による、地域の魅力の増大と強い誘客性を図ることで、漁業者の所得向上を目指す。
- 博物館や海業体験を組み合わせた高品質な旅行商品の開発による集客力の拡大。
- 上記取組の支援（準備岸壁（-5m）の一部の使用による発着場整備、漁具倉庫（木造）の一部を海業案内事務所、事前のレクチャー、休憩施設として活用）

4. 海業の具体的な取組・実施主体（案）・期待される効果

①海釣りデッキ（漁協）

【期待される効果】

- 観光客の滞在時間の増加
- 森浦湾くじらの海における観光メニューの増大

②捕鯨船クルーズ事業の検討（漁協）

※シーズンオフの捕鯨船の活用

③定置網見学

（発着場整備：太地町、運営：漁協）

【期待される効果】

- 観光客の滞在時間の増加
- 観光地としての魅力の増大
- 地域の雇用の創出

④近隣地区宿泊施設との連携（民間）

※太地の魅力・地域資源を活用した、博物館や海業体験と連携した高品質な旅行商品を開発

【期待される効果】

- 観光地としての魅力の増大
- 賑わいの創出
- 漁業者の所得の向上



④海業の事業計画 海業推進に向けた事業計画書案について

■事業計画書 記載項目

策定者		
協議会メンバー		
対象地域と対象漁港		
地区の概要	地区の現状	地区の概要、産業構造と人口の推移、漁業の概要、観光の概要 等
	上位・関連計画	上位・関連計画との関係、位置づけ
	地域の課題	上記を踏まえて地域の課題を整理
海業の概要	海業の目的	目的（ミッション）、地区が目指す将来像
	実施する事業	実施する事業、事業主体、実施時期等
	地域資源や魅力の活用	活用する地域資源や魅力、事業での活用方針、域内調達
	漁港ストックの活用方針	漁港ストック、およびその活用方針
	事業の効果	地元水産業の発展に寄与する内容、地域に与える効果
実施する各事業の ビジネスモデル	ビジネスモデル	何を、誰に、どのように提供するか、価格帯、見込客数等
各事業の実施項目と実施主体、活用したい支援事業等		
体制、人員計画、関係者の役割分担		
実施に向けた手続き・調整事項	手続き	各事業の実施に向けた具体的な手続き
	調整事項	今後必要となる調整事項の整理
財務計画	資金の検討、収益の検討	
実施にむけたタイムスケジュール案（これまでのまとめ）		

⑤海業で実施する事業の内容と体制案：太地地区 海業の概要-1

漁業体験

- 事業概要：「鰯敷網」「八角網」「網代網」と三つの定置網を地先の漁場に敷設しており、通年の漁業がある。教育観光ツアーなどの受け入れも見据えたメニューの魅力向上を図り、観光メニューの一つとして取込みやすい漁業体験モデルを構築する
- 事業主体：太地町漁業協同組合、太地水産共同組合
- 実施時期：令和6年ころに事業開始予定（短期）
- 取扱商品：定置網漁見学、市場水揚げ・セリ見学、解説を一式としたツアー体験
- 所要時間/定員等：1時間30分程度/ 定員 1回、10名まで
- セールスポイント：定置網漁を間近に体験、セリ見学では地域漁業の特性や定置網漁について解説
- 販売ターゲット・見込み客数・販売戦略
ターゲット：近畿管内都市居住者、県内、道の駅たいじ利用者、勝浦温泉・ホテル利用者等
対象者：小学生以上
見込客数：〇〇人/年
- 販売戦略：熊野灘沿岸地域に立地する太地町では、定置網漁場から眺める雄大な太平洋の眺望と漁業体験を組み合わせた得難い体験ツアーをPRする。又、豊かな魚種に恵まれた市場のセリ見学とレクチャーを実施することで太地町における漁業の魅力度を向上させる。



太地町漁協魚市場

「太地町漁業体験」主なメニュー

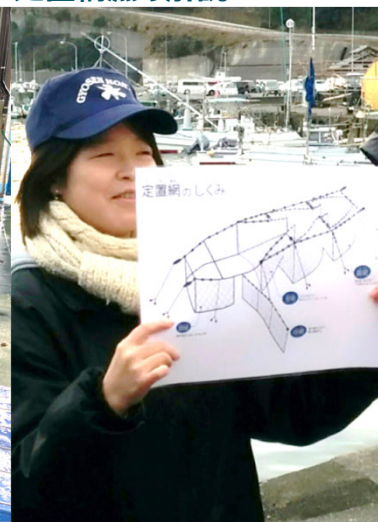
市場せり見学



魚介類の解説



定置網漁の解説



定置網漁の見学



太地地区 海業の概要－2

森浦湾くじらの海シーカヤック

- 事業概要：太地町森浦湾「くじらの海シーカヤック」では、海上遊歩道で仕切られた湾内を鯨類が自由に泳ぎ回る環境の中でカヤック、サップを体験することができる。四季の豊かな自然に囲まれた中で穏やかな海で楽しむ感動体験を海業観光メニューとして定着させるために、多様な対象者に向けた高付加価値メニューの開発に取り組む。又、都市圏からの教育旅行の定番観光メニューとして定着させる等、来訪者数・売額の拡大を目指す。
- 事業主体：太地町漁業協同組合
- 実施時期：令和6年ころに事業開始予定（短期）
- 取扱商品：シーカヤック、SUP、ナイトカヤック体験
- 所要時間/定員等：1時間～2時間 / 定員 1回、2名～約100名
- サービスの内容と価格：体験料カヤック 5000円、サップ 3000円、ナイトカヤック 3000円
- セールスポイント：定置網漁を間近に体験、セリ見学では地域漁業の特性や定置網漁について解説
- 販売ターゲット・見込み客数・販売戦略
ターゲット：近畿管内都市居住者、県内、道の駅たいじ利用者、勝浦温泉・ホテル利用者等
対象者：小学生以上
- 販売戦略：静穏性の高い森浦湾で体験するシーカヤックは、子どもからお年寄りまで幅広い年齢層が体験できる観光メニュー。都市部の釣船のように、気軽に体験できるサービスも充実している（更衣室、シャワー完備）

「森浦湾くじらの海 シーカヤック」

シーカヤック体験



自由に泳ぎまわるくじらと出会える



SUP体験



愛犬とカヤック体験



森浦湾会場遊歩道 釣りいかだ体験

- 事業概要：太地町森浦湾くじらの海遊歩道を活用し、外海側へ釣りいかだを設置することで森浦湾を中心にさまざまな体験を選択できること又、複合体験を可能とすることでアクティビティの充実化を図り、集客力の強化を目指す。
- 事業主体：太地町漁業協同組合
- 実施時期：令和6年ころに事業開始予定（短期）
- 取扱商品：森浦湾いかだ釣り
- 所要時間/定員等：4時間まで / 定員 1回、10名（仮）
- サービスの内容と価格：3000円（仮）餌代、別途
- セールスポイント：おだやかな森浦湾奥で初心者・子どもでも気軽に釣りができる「いかだ釣り体験」
陸上から海上遊歩道を歩いて移動、海に囲まれた筏で洋上の釣り船と同様の釣りを堪能することができる。
- 販売ターゲット・見込み客数・販売戦略
ターゲット：近畿管内都市居住者、県内、道の駅たいじ利用者、勝浦温泉・ホテル利用者等
対象者：小学生以上
- 販売戦略：気軽に体験できるサービスを充実させる（更衣室、シャワー完備）。天然資源の釣り体験ができる
- 競合・市場を取り巻く状況：田辺湾では釣筏や釣り堀を運営する漁協がある。釣りの他、魚介類等販売市場、温浴施設、宿泊施設などを運営している。（事業規模 大、知名度 高、利用者数 多い）

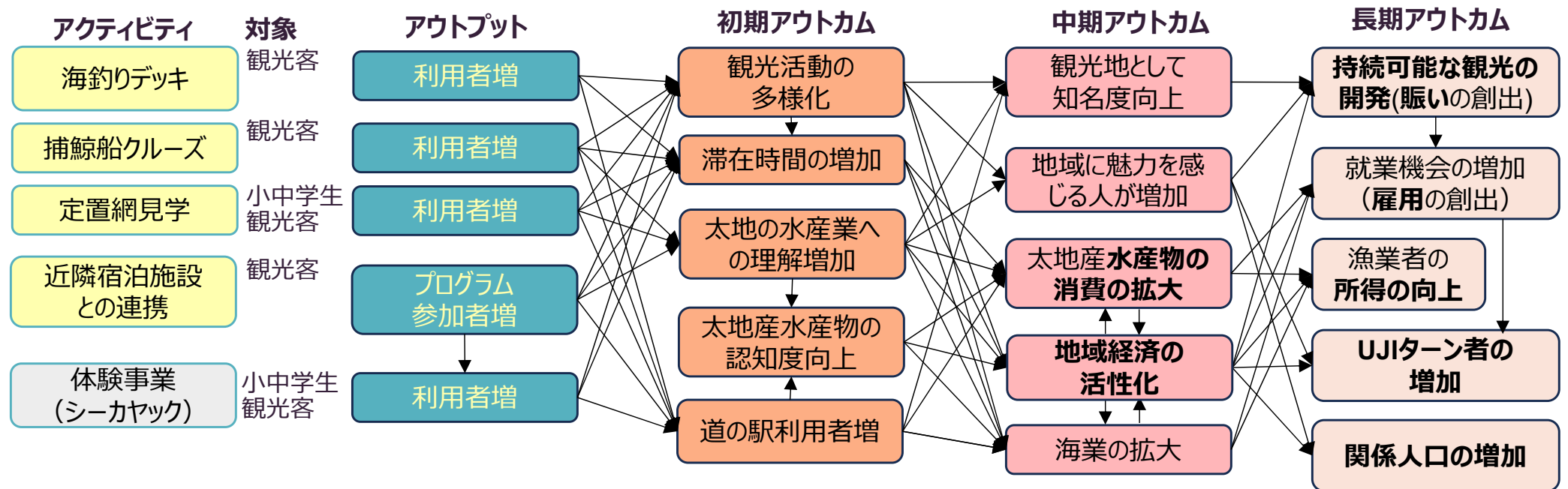


森浦湾 釣りいかだのアイデア

- ・浮体の側面を板で囲い（額縁のように）床面をつくる
・・・周辺の自然環境に調和
- ・動力なしの浮体とする
- ・太陽を遮る屋根付きとする

⑥太地地区 海業で期待される効果

事業の効果（ロジックモデル）



⑦太地地区 海業の関係主体間の経済関係

太地地区における海業関連販売事業

■事業の概要：

太地町内全域を対象とした海業関連コンテンツの取組みと経済活動の連携

■事業主体：

太地町漁協、太地町、太地町立くじらの博物館、道の駅たいじ、町内宿泊施設等

■取扱商品：

森浦湾くじらの海シーカヤック、釣りいかだ、定置網漁漁業体験、博物館ガイドツアー

海業の具体的な取組場所

①海釣りデッキ（漁協）

④近隣地区宿泊施設との連携（民間）

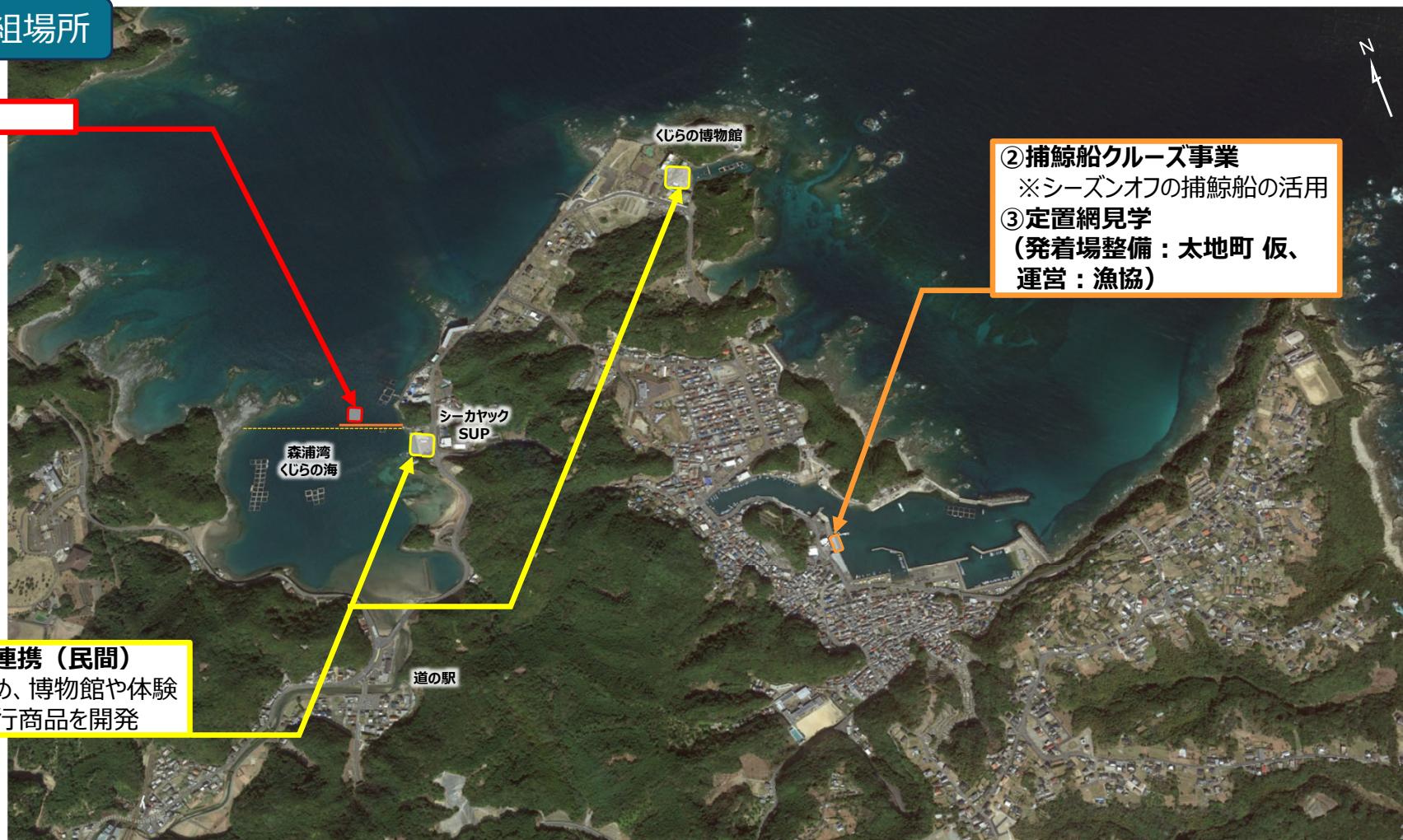
※太地の魅力を高めるため、博物館や体験と連携した高品質な旅行商品を開発

②捕鯨船クルーズ事業

※シーズンオフの捕鯨船の活用

③定置網見学

（発着場整備：太地町 仮、
運営：漁協）



太地地区海業の関係主体間の経済関係

太地町・太地町漁協の取組み

【太地町】くじらと自然の学術都市づくり

- ① 太地町立くじらの博物館
- ② 日本鯨類研究所 太地支所設置

森浦湾くじらの海

- ③ 小型鯨類の生体飼育
鯨類飼育・見学

【太地町漁協】

- ① 漁協自営シーカヤック・SUP事業
- ② 海上遊歩道運営・管理(指定管理)

- 道の駅たいじ運営・管理(指定管理)
- 漁協自営スーパー
- 鯨肉加工場

【太地町漁協における海業の取組み】

太地町 漁業の活性化

来訪者

観光客等

教育旅行

サービス

代金(一部、利用料無)

使用許可

海業実施者：太地町漁協

代金

サービス

太地町漁協運営： 新規事業の取組み

- ・釣りいかだ
- ・森浦くじらの海
シーカヤック高付加価値商品
- ・漁業体験

料金

サービス

使用許可

太地町、和歌山県他
関係機関 ※要確認

【民間企業】

- ・旅行販売
- ・その他

⑧想定されるスケジュール案

海業推進に向けた実施事項とスケジュール案

事業名	事業主体	実現までの実施事項				実施時期									
		実施項目	概要	実施主体	活用したい 支援事業	短期					中期				
						R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15
漁業体験	太地町漁協	定置網漁体験・市場見学	漁協は旅行会社と連携して定置網漁見学体験を定期的に募集・実施する	漁協 民間企業等											
		旧荷捌施設を活用した活動拠点の整備計画	太地漁港旧荷捌施設の一部を活用した漁業体験活動拠点の整備を計画する	太地町 漁協 民間企業等											
		施設整備	旧荷捌施設の一部を活用した漁業体験活動拠点の設計・工事	太地町 漁協 民間企業等							供用開始		継続利用		
森浦湾 シーカヤック	太地町漁協	高付加価値メニューの開発	既往メニューの高付加価値商品を開発、周辺市町宿泊施設との業務提携企画を作成、販促活動の展開	漁協 民間企業等											
森浦湾 釣りかだ	太地町漁協	基本計画	類似施設及び実現可能性調査、施設の基本計画検討	太地町 漁協 民間企業等											
		施設整備	設計及び概算費用算出、施設整備	漁協 民間企業等									継続利用		
		運用計画の策定	関係機関との調整、運用上の規約等の設定	漁協											